

【当院 ICU における SAT プロトコル導入後の効果】 に対するご協力をお願い

このたび以下にご説明する研究を実施しますのでお知らせします。研究への参加は強制するものではありません。途中で参加を中止することもできます。患者様のプライバシーには十分に注意して取り扱いを行います。ご了承ください。ご承知いただけない場合には患者様の情報を本研究に利用しませんので、以下のお問い合わせ先までお申し出ください。お申し出により不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

当院 ICU における SAT プロトコル導入後の効果

2. 研究目的・意義

ICU 在室中、退室後、退院後に集中治療後症候群(以下 PICS)という身体・認知・精神の障害が生じることがあります。PICS が生じると患者様だけでなく、その家族にも大きな影響を及ぼすので、予防ために人工呼吸器を使用中に鎮静剤を多量に使用することを避け、苦痛がないよう注意しながら覚醒を促す取り組み(以下 SAT)が必要とされています。さらに、各施設の状況に応じた実施計画を用いることで SAT をより安全で効果的に実施することができるとされています。

そこで現在導入している SAT 実施計画に有用性があるのかどうかを検証する目的で、SAT 実施計画を導入した前後での鎮静薬の使用量、人工呼吸器管理日数、ICU 在室日数、ICU 在室中の離床度、せん妄発生の有無について調査します。

この研究を行うことで、現在使用している SAT の実施計画における課題を検討し、より安全で効果的な SAT の実施につながる可能性があります。

3. 対象となる方

2022 年 2 月 1 日～8 月 31 日および 2023 年 2 月 1 日～8 月 31 日に ICU に入室し、人工呼吸器を使用した患者様

4. 研究方法、データ収集方法

疾患名、年齢、性別、体重、ICU 滞在日数と人工呼吸器を使用した日数、治療や人工呼吸器の使用に伴う鎮静薬や鎮痛薬の投与量、ICU 入室中に行ったりハビリテーションの数値化した進捗状況、バイタルサインなどを診療録より収集し調査します。

5. プライバシーの保護について

診療録から情報収集する際には、プライバシー保護には十分に配慮して個人を特定できる情報は収集しません。結果を公表する際にも個人を特定できる内容は公表しません。収集した情報および結果は、研究目的以外に用いることはありません。

6. お問い合わせ

この研究について不明なこと、心配なことがありましたら、下記の研究責任者にお問い合わせください。ご希望があれば、この研究の計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。

連絡先:0835-22-4411(山口県立総合医療センター)

研究責任者:看護部 ICU 看護師 永田祐香里